

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名こぼんはうさくら横浜吉野町教室

保護者等数(児童数)16 回収数 16 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	1		3		折り畳み式の机を使用したりしてスペースの確保に努めています。活動内容によってはエリアを分けるなどの工夫を行っています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	12	2		2		基準人員以上の配置をしています。職員の配置数を適切にし、専門性を向上することができるよう努めていきます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	3		5	階段が大変	建物は2階にあるので階段を使用しなければいけませんが、施設内には段差はなく、トイレにも手すりを付けるなどの配慮を行っています。
適切 な 支 援 の 提 供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	15			1		面談を行い、保護者のニーズやお子様の現状と合わせた計画書を作成しています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	15	1			毎日違うプログラムなので、すごいと思う。外出プログラムがもう少しあると良い。	基本的には毎日違うプログラムを実施しています。調理や曜日対抗は特定の目的があり固定化することはありません。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	3	7	4		地域のおまつりに今年は参加することができました。少しずつ交流を広げていきたいと思えます。
保 護 者 へ の 説 明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	2				契約時に説明をさせていただいています。ご不明点はその都度説明をさせていただきます。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15	1				職員のフィードバックのやり方を再確認し、お子様の様子を共有できるようにしていきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	1				面談は定期的に行っております。育児に関するご心配ごとなどがあればフィードバック時にお伝えいただければその都度ご相談に乗らせていただきます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	3	6	6	年に1度でも良いので見学できる日があると良い。	保護者がいについては会社全体で話し合いをしていきます。父母会については実施された場合にはご相談いただければご協力できるように努めていきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	3		5		苦情を受けたらその担当者から上司へ報告し、職員で話し合い、決定したものをお伝えします。又、アンケートの結果については紙面でも配布させていただきます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	2				子どもには絵カードなどの視覚的なものを使用しています。また、保護者には漢字を使わないようにしたり翻訳をし手紙などをお配りすることもあります。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14	2				毎月、解放を出しています。Instagramなども定期的に更新しています。ぜひご覧ください。自己評価についてもHPや紙面で公表いたします。
14 個人情報に十分注意しているか	10	1		5		ミスが出ることもありますが、なくしていけるよう職員間で共有し、取りくんできます。	
非 常 時 等 の 対 応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	2		3		契約時に説明をさせていただいています。ご不明な点はその都度説明をさせていただきます。マニュアルは職員間で共有をしています。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	1		2		1月に一回は避難訓練を実施しています。避難訓練に参加した子供については保護者へフィードバックの様子をお伝えしています。
満 足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	14	2			その日によって。	「いきたくない」というお子様もいますが、教室に来た際には楽しく過ごしていただけるよう努めてまいります。
	18 事業所の支援に満足しているか	15	1			妹も行きたいと思うくらい。いつもありがとうございます。	これからも満足していただけるよう、努めてまいります。

208 31 13 36

72%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こぱんはうすくら 横浜吉野町教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	0	パーティションで所在を決めるなどして部屋を活用している。	折り畳み式の机を使用したりしてスペースの確保に努めています。活動内容によってはエリアを分けるなどの工夫を行っています。
	2 職員の配置数は適切である	8	2	人数は足りているが、職員が欠席した場合に補充できる余裕があると良い。もう少し人数が多いと余裕が持てると思う。	基準人員以上の配置をしています。職員の配置数を適切にし、専門性を向上することができるよう努めていきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	10	0	施設内は動線上に段差等はないと思います。段差があるところは少ないと思います。	建物は2階にあるので階段を使用しなければいけません。施設内には段差はなく、トイレにも手すりを付けるなどの配慮を行っています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10	0	毎日目標設定と振り返りの機会を作っている。	支援内容や業務についての改善をできるように職員間でも面談やミーティングを行い、実施していきます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	0	アンケート調査を実施し、会議で共有している。	評価が悪かった点は次回アンケートまでに改善していけるように努めます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10	0	毎年、評価の結果を公表し、改善に努めている。	自己評価の結果については、HPIにて公表を行っています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	4	SVIによる評価などを取り入れている。	第三者による評価はありませんが、SVIなどが教室の評価を行うことがあります。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10	0	定期的に研修を受けている。	定期的に研修の機会を作り、質の向上に努めていきます。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10	0	保護者のニーズも確認しながら、個々のアセスメントを実施し、支援計画を作成しています。	今後面談時にニーズや課題を保護者とお話ししたうえで、支援目標の設定を行っていきます。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	0	アセスメントシートを活用し、こどもの状態がわかるようにしています。	今後必要な情報がわかるよう、アセスメントツールを活用しながら支援目標の設定を行っていきます。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	10	0	常勤・非常勤もみんなで考えを出し合っている。様々なジャンルのプログラムが組まれていて良いと思う。	継続して様々な楽しめるプログラムを検討していきます。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	0	毎日違うプログラムを立て、同じ内容にならないよう実施している。季節のものやイベントなど組み込まれていて楽しいと思う。毎日違う活動プログラムを実施しています。	継続して様々な楽しめるプログラムを検討していきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	10	0	休日や長期休暇には体を動かす活動を積極的に取り入れるなどの設定をしています。	過ごす時間に応じて、課題やプログラムを検討し、支援を実施しています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10	0	お子さんの状態に合わせて、個別活動で行う目標と集団での目標を組み合わせています	引き続き、お子さんの状態に合わせた支援目標の設定をしていきます。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	0	ボードを使って役割分担を明確にし、朝と昼にミーティングで打ち合わせを行っている。朝・裕のミーティングは必ず、中ミーティングは可能な限り行っています。	10時出勤の非常勤さんに内容や役割を伝える時間をもう少しとれるようにしていきたい。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10	0	必ず振り返りを行い、日報に記入し職員間で共有している。	振り返りを継続し、情報共有に努めます。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	0	学習やその日の様子の記録を取ることを徹底しています。	記録を残し、支援の向上に努めます。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10	0	定期的にモニタリング、計画の見直しをしています。	お子さんに合わせた支援目標を設定できるよう努めます。	
関係機	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	10	0	自立活動や余暇、創作など複数のものに参加できるよう、プログラムを組み合わせています。	自立活動や余暇、創作など複数のものに参加できるよう、プログラムを組み合わせています。
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10	0	お子さんや情報の必要に応じて参加してもらいます。	今後必要に応じて参画できるよう努めます。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	10	0	年間計画や下校時刻は保護者からおたよりをいただいています。送迎時の情報共有も行っていきます。下校時刻などは保護者と確認が基本ですが、必要な時は担当に確認します。その他、児童の様子を共有することもあります。	年間計画や下校時刻のプリントの提出や下校時間などのお知らせは保護者にお願いしております。急な時間の変更時などには、学校と適宜連絡を取り合い対応していきます。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	4	現在、該当する児童はいません。	現在該当の児童はいませんが、今後該当児童が出てきましたら行っていきます。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9	0	保護者のご希望に応じて行います。	保護者のニーズにあわせ、保育園や児童発達支援との情報共有を行うこともあります。

